

紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況 (2016 年 2 ~ 3 月)



● 顕著な活動は、とくにみられなかった。

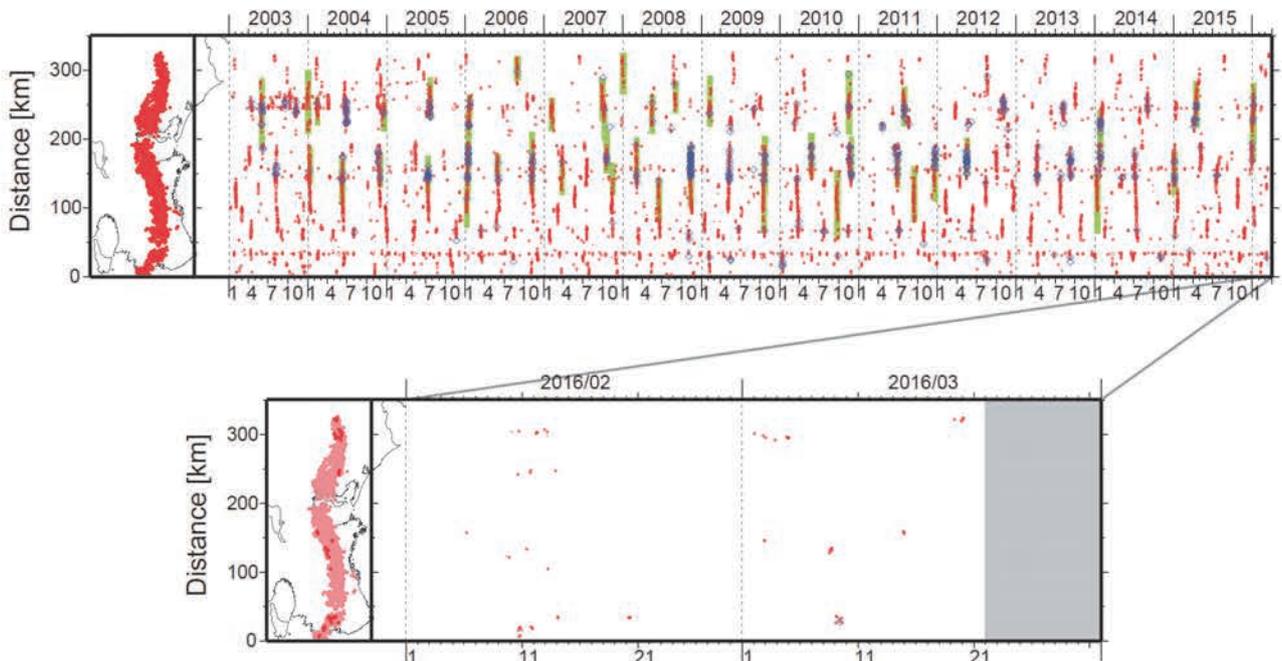


図 1. 紀伊半島・東海地域における 2003 年 1 月～2016 年 3 月 21 日までの深部低周波微動の時空間分布(上図). 赤丸はエンベロップ相関・振幅ハイブリッド法 (Maeda and Obara, 2009) およびクラスタ処理 (Obara et al., 2010) によって 1 時間毎に自動処理された微動分布の重心である. 青菱形は周期 20 秒に卓越する超低周波地震 (Ito et al., 2007) である. 黄緑色の太線はこれまでに検出された短期的スロースリップイベント (SSE) を示す. 下図は 2016 年 2 ~ 3 月の拡大図である 2 月後半以降, 顕著な活動は特にみられなかったものの, 2 月 20 日頃には和歌山県中部で, 3 月 2 ~ 5 日頃には長野県南部で, 3 月 8 日頃には三重・奈良県境付近で, 3 月 9 日頃には和歌山県中部で, 3 月 14 ~ 15 日頃には三重県北部で, それぞれごく小規模な活動がみられた. 3 月 19 ~ 20 日頃には長野県南部の 3 月 2 ~ 5 日の活動域の北側で, ごく小規模な活動がみられた. 3 月 2 日 21:49 頃 (JST) にスマトラ南西沖で発生した Mw7.8 の地震後には, 三重県中部で微動活動が一時的にみられた.

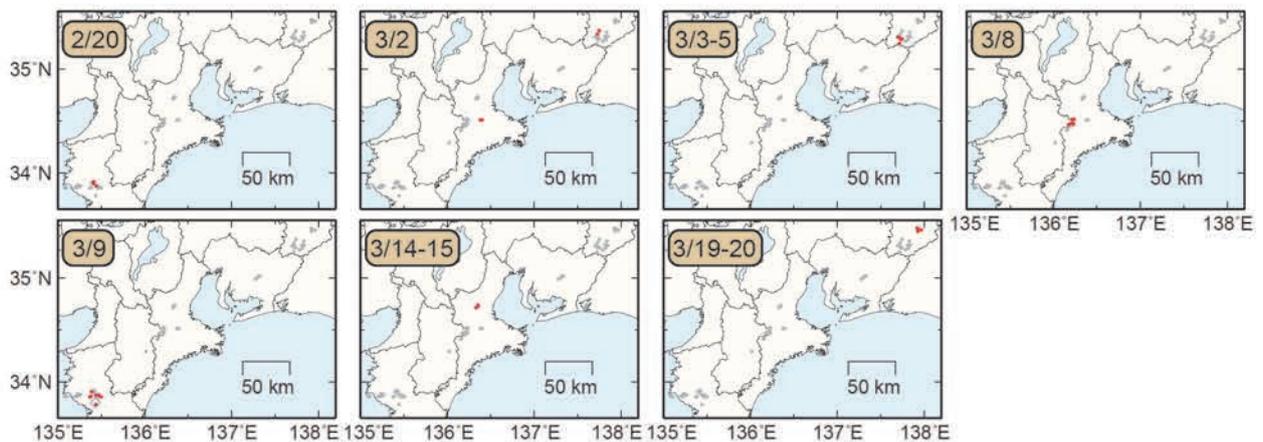


図 2. 各期間に発生した微動分布 (赤丸), および超低周波地震 (青菱形). 灰丸は, 図 1 の拡大図で示した期間における微動分布を示す.

防災科学技術研究所作成

図 5 紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況